大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談について

留学する前に、「こういうことが知りたいな」とか、留学後に「この情報は役立つだろうから、みんなに教えてあげたいな」等と思われた経験はありませんか？

同じことはこれから留学を考えている学生さんもきっと思っているはずです。そんな学生さん達には、留学の先輩としての経験者の意見は大変参考になるでしょう。

このレポートは今後海外留学を予定している学生さんに、実際に留学された学生さんの経験や身近な情報を提供するための資料として利用させていただきます。皆様の体験や実感に基づいた情報を可能な限り詳しくご記入下さい。
（記載する項目・文字数については自由に選択していただいて構いませんが、☆を付した項目には必ずご記入下さい。）

なお、ご提供いただきました情報については上述の目的のために活用され、その他の目的には利用されません。また、プライバシーを侵害するような情報等、不適切と思われる事項を除き、そのままHP等にて公開させていただきますので、ご理解願います。

今後留学を予定している方のためにも、皆様の貴重な意見をお待ちしております。

大阪大学経済学研究科国際交流室
ieo@econ.osaka-u.ac.jp

大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2024 年　8 月　17 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	2 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	■交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	台湾
滞在都市（☆）	台北
留学先大学等名（☆）	国立台湾大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学先で主に使用した言語	英語、中国語
渡航先への入国日（☆）	2023 年　8 月　28 日
渡航先からの出国日（☆）	2024 年　6 月　15 日
渡航先国での滞在期間（☆）	10 か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	General Chinese Language Course 1st Semester (9 月～12 月) 100 分×3 回/週　全 15 週 講義形式、留学生のみ、時間は朝か夜かで選べる 3
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Chinese Enhancing Course 2nd Semester(3 月～6 月) 100 分×2 回/週　全 15 週 講義形式、留学生のみ 1
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Public Administration (1) 1st Semester (9 月～12 月) 100 分×1 回/週　全 15 週 講義形式、ほぼ毎回グループワークあり 2

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Introduction to International relations 1st Semester（9 月～12 月） 100 分×1 回/週　全 15 週 講義形式、グループワークがたまにある 2
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Macroeconomics（1） 1st Semester（9 月～12 月） 50 分×1 回/週　全 15 週 毎週 60 分程度の予習動画を見た上で授業に参加、授業中は予習内の例題の答え合わせなど 3
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Public Administration（2） 2nd Semester(3 月～6 月) 100 分×1 回/週　全 15 週 講義形式、ほぼ毎回グループワークあり、フィールドワークもあった。 2
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Microeconomics（2） 2nd Semester(3 月～6 月) 100 分×1 回/週　全 15 週 毎週 60 分程度の予習動画を見た上で授業に参加、授業中は小テストとグループワークがある 3
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Engaging Consumers and Social Media Marketing 2nd Semester(3 月～6 月) 100 分×1 回/週　全 15 週 講義形式、2 週に一度程度グループワークあり 2
留学生（日本人）の割合	中国語の授業は 2 割～ほど、英語の授業は 2 人ほど
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	授業によって異なるが、英語の授業はエッセイのみ、筆記テストのみ、プレゼンテーションのみのどれかでした。中国語の授業はテストとプレゼンテーションの両方がありました。
履修科目の制限等（あれば）	特になかったと思います。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語で話す機会は多かったと思います。英語開講の授業科目は留学生用のためとてもたくさん選択肢があるというわけではなかったです。

語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	履修しませんでしたが、台湾大学の 1 年生用に開講されている英語のエッセイライティングなどの授業があったような気がします。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	質問セッションが設けてある授業もあり、質問しようと思えばできる環境だったと思います。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	初めは食堂に感動しました。お店の種類が多く、安くて量も多いからです。ただし学食は大概脂っこいので、最期の方は飽きました。学内のタピオカ屋さんも安くておいしいです。
図書館について	総合図書館と社会科学院の図書館の二つがあります。コンセントも多く、設備も良く集中して勉強できる環境があります。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	有り。使ったことはなく、金額が高いと耳にしました。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	空手道部、言語交換サークルに所属
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	日本語を話せるバディが付き、その彼が入国の日に空港まで迎えに来てくれました。この後も履修登録やサークル展覧会への参加などで助けてくれました。
オリエンテーション等学校主催の行事について	オリエンテーションは全体と各学部の 2 つがありました。オリエンテーションでは最初の行事ということもあり、出身国や地域ごとに固まる傾向があったように思います。 サークル展覧会では台湾大学内のユニークなものも多かったです。食べ物を貰えることもあります。
現地の学生との交流について	学部の授業は英語なので台湾人の学生はかなり少ないです。そのため部活やサークルに入ることをお勧めします。現地の学生は優しく、真面目で話しやすい人が多い印象です。
他の留学生との交流について	一番友達ができやすいのは中国語の語学の授業だと思います。その他、学部の授業は基本英語なので留学生はたくさんいます。自分から話しかけることが大事だと思います。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	週末に SNS を使って見つけたバドミントンのコミュニティーに参加していました。学生から社会人まで多くの人と関わることができ、また経験者の人は初心者の私にも優しく教えてくれました。
長期休暇中の過ごし方	中国語の語学学校に 3 か月間通いました。平日 5 日、1 日 2 時間の少人数制授業を受けました。

その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	居留ビザ
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	渡航 1 か月前に大阪駅近くの台湾領事館で手続きしました。午前中しか新規受付をしてなかった気がします。申請後は 1 週間ほどで取得できたと思います。申請に必要な健康診断の受診に時間とお金がかかりました。一度検診が終わり、書類を作ってもらった後に、更にワクチンの接種が必要だと分かったからです。ワクチンなどの項目に対して、証明書だけでいいのか、ワクチンを受けないといけないのか、もし証明書でいいならその証明書の起源は適切かなどに気を付けた方がいいです。一般の病院の検診センターでは留学用健康診断に詳しくないこともあるので、困ったら領事館に電話で問い合わせて聞くのが一番かと思います。
利用航空会社	エバー航空
入国の際の現地空港名	桃園国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	地下鉄の空港線で 1 時間ほどで台北駅に着きます。今は 750 円くらいで行けます。
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	ビザを提示しただけで、特に何か聞かれた記憶はありません。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	居留証の手続きがとても面倒でした。3 か月以上の滞在で必要になるはずです。今はスマホからの申請で、直接交付所に行ったのに無駄足でした。データ書類のアップロードの際にサイズが大きすぎてアップロードできないことが多々あるので、ネット上のファイル圧縮サイトなどを使うのがいいです。申請から取得までに 1 か月ほどかかりました。引っ越しの予定がある場合は、引っ越し後にインターネット上から住所変更をすることを忘れないようにしてください。
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	業務スーパー　ジャパンドリーム奨学金
奨学金月額受給額（円）	15 万円
入国時に用意した金額	30 万円

ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	エポスカード
留学中に利用した銀行名	ゆうちょ銀行
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	中国信託銀行
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	無
日本からの送金方法について	ゆうちょ銀行への日本円での振込
1ヶ月の生活費（目安）	8 万円
その他	為替レートによる損失や、海外 ATM 使用手数料を考慮した結果、上記クレジットカードのキャッシング機能を使うことが最適だという結論に至りました。キャッシングで日本の口座から台湾ドルを引き出す方法です。キャッシングした金額の早期返済をすれば払う利息が少なく済みます。現地での口座は家賃の振込のために開きました。現地の口座がなくてもコンビニに ATM はたくさんあるので困らないかとは思います。私は 10 か月の留学費用をすべて奨学金で賄うことができました。

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	一人暮らし、アパート
家賃	12300 台湾ドル（6 万円弱）
住居を探した方法・時期	PAPAGO のサイトを通じて渡航 1 か月前に探しました。学生寮の抽選に外れたので、仕方なく一人暮らしをすることに決めました。PAPAGO は日本人によって運営されているので日本語でやり取りできるので安心ではあります。ただし家賃が高めだったり、手数料を比較的多く取られたりすることはあるので、強くお勧めは出来ません。実際住んだ家は住みやすく、寝具などももらえたのでそのあたりのサービスには満足しています。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	100L の大きなスーツケースの荷物 23 キロ程度とリュックの荷物 7 キロほどですべて持っていきました。帰りは荷物が増えたので国際郵便を使いました。靴を入れる段ボールの荷物 6 キロで 3000 円弱かかりました。大学内の郵便局から送りま

	した。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	家にキッチンが無かったので毎日外で食べるか、外で買って家で食べていました。朝ごはん屋さんが多く、毎日朝ごはんは食べていました。学食にあるビュッフェは安くて量も多いので、食費を抑えるのに最適です。
1ヶ月の食費	3万円、一日200台湾ドル（1000円）程度で足ります。
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	居留証取得前は30日分の電話番号付きSIMを買いました。比較的高いです。居留証取得後は中華電信で外国人向けの月599台湾ドルプランを契約しました。毎月店舗で通信費を払っていました。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	Wi-Fi は家に元々ついていました。天気が悪い時などに少し電波が弱くなることもありましたが、携帯のプランがギガ無制限だったため問題なかったです。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本にいた時と同じものを使いました。
郵便について	帰国時に一度荷物を実家に送っただけです。
交通機関について	台北市内なら地下鉄でどこへでも行けます。バスは運転が荒いので車酔いしやすい私には不向きでした。交通費はタクシー含め日本より安いです。U-bikeと言って好きな場所で借りることができて、好きな場所に返却できる自転車のサービスが充実しているので、大変便利でした。30分以内は無料で使えます。
治安について	良いです。夜一人で歩いても何も怖くありません。道路わきにごみ箱が多く設置してあり道路上にごみはあまり落ちていません。
保険について	「たびほ」の10か月で11万円ほどの保険に入りました。足のケガとお腹の感染症で計2回病院に行き、合計5万円ほど払いましたが保険が全てカバーしてくれました。
医療機関・薬について	気候の違いからか風邪気味になることは何度かありました。日本から薬をもっていっても良いですし、台湾でも日本の薬が置いてある薬局もあるので購入できると思います。ただし日本で買うより高いと思います。

気候と服装について	夏は蒸し暑く、雨がよく降るので折り畳み傘の携帯は必須です。冬は湿気が多く気温よりも寒く感じます。家に暖房なかったのですが、冬は服をたくさん着てしのげました。冬はヒートテックや手袋を重宝しました。
普段の買い物について	コンビニの数が多いです。24時間空いているスーパーもあり、そのような店で買い物をしていました。ダイソーや日本の薬局もあります。
娯楽・行事について	娯楽については大学内に屋外バスケコートがあり、自由に使えたり、体育館を予約してバドミントンをしたり、ジムで運動できたりします。行事に関しては、2月に旧正月があり、多くの台湾人は実家に帰省するので台北から人がいなくなります。
日本語の使用について	日本からの留学生が多く、繋がろうと思えば簡単につながれます。日本人留学生のLINEグループやコミュニティーもあります。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	折り畳み傘、風邪薬、iPad、コンタクトレンズは持参してよかったと思います。台湾で何でもそろうので持っていくのを忘れても何とかなると思います。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	留学前にしておけばよかったことは英語の勉強、これに尽きます。留学中は必然的に留学生との交流の方が多くなるので英語を話せれば話せるほど、生活がすぐに楽しくなると思います。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	セミナー、選考会参加をしたり、自己分析を始めたり、就活サイトの登録をしたりしました。開始時期は早めで、その頃は台湾にいることの就活へのデメリットは対面のイベントに参加できなかったことかと思います。しかし6月の帰国時期がサマーインターンシップの選考開始時期に被ってしまい、少し準備不足になってしまいました。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	海外企業との接点がなかったので、インターネットを通じて日本企業の情報を集めるだけに留まっていました。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTS 試験の 1 か月前にオンラインの試験対策を申し込み、週 2 回レッスンを受けました。今思うと小手先の対策に過ぎなかったと思います。
留学中の学習方法、工夫したこと等	とにかく話す機会を掴みに行くことを意識しました。授業での交流や部活・サークルへの参加で英語、中国語共に友達をたくさん作って、たくさん話しました。また家に帰ってから話せなかったこと、話したかったことを復習しました。さらに留学中にオンライン英会話を契約し一日1時間ほどレッスンを受けていました。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	英語では授業でプレゼンテーションができるくらい、中国語ではそれのみで台湾人と会話できるくらいには成長できました。

８．その他

留学して得られたこと	まずは語学面で強くなれたと思います。外国人と話すハードルが下がったことも良かったです。また留学前に比べて自分軸で生きることができるようになったかなと思います。人に合わせるだけではなく、自分の意見を言うことに積極的になったと思います。
留学中に困ったこと	言語の壁です。もっと友達作りたいし、もっと話したいのに言語能力が追いつかないのが悔しかったです。しかし多くの人が興味をもって話してくれたり、簡単な言葉で話してくれたりなど、たくさんの人の優しさを貰ったと思います。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	留学中は YouTube で英語や中国語の勉強をしていました。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

私は台湾大学への 10 ヶ月間の交換留学に本当に行ってよかったなと思っています。語学能力を向上させることができたことはもちろん､台湾の学生だけでなく､多くの留学生と友達になり、視野を広げることもできた非常に貴重な 10 か月間だったと思います。以下では留学を決めた理由、現地で履修した授業、楽しかったこと、大変だったことについて書きます。

大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

私が留学を決めた理由は大学生時代に何か時別な経験がしたかったからです。入学前から阪大の経済学部には交換留学制度があると知っていました。台湾を選んだ理由は費用の安さです。もともとはカナダに留学して英語を伸ばしたいと思っていましたが、予算的に厳しいことが分かりました。第二外国語で中国語を履修していたとはいえ、初めは台湾に全く興味がありませんでしたが、安く留学でき、以前行った学生たちの満足度が高いということを聞いて台湾を目指すことに決めました。実際私は留学生用奨学金を得て、それら奨学金のみで留学を終えることができました。

台湾大学で履修した経済に関する授業はすべて英語でした。授業内でグループディスカッションをすることが多かったです。ソーシャルメディア・マーケティング戦略の授業では、ほぼ隔週でグループワークがあり、フェイスブックやインスタグラムなどのソーシャルメディアを使って、ある商品を効果的に宣伝する方法についてディスカッションしました。最終的には、台湾大学の GMBA（グローバル経営学修士）プログラムのウェブサイトをどのように改善するかというテーマで、グループプレゼンテーションを行いました。

また国際関係論という授業では世界中の紛争や戦争について学びました。欧米などから来た学生がよく知っている出来事と、私たち日本人が普段知っている出来事はかなり違うということに気づきました。期末プレゼンテーションの際、他の 5 人の留学生とイエメンの紛争について調べました。ヨーロッパの留学生が多かったのですが、彼らは政治に興味があり、日本の学生よりも政治に対して懐疑的で感心しました。

英語の授業はかなり大変でした。自分の英語力が乏しかったこともあり、グループワークの際に全く貢献できないこともよくありました。正直、毎週毎週授業に行くのは嫌でした。ただし留学生は優しい人が多く、分からないことはサポートしてくれました。授業で多くの友人ができたのは良かったです。英語のエッセイを書くにしても資料を読むのに時間がかかり、途方もない時間がかかりました。しかし最終的にはなんとか英語でプレゼンテーションしたり、エッセイを書いたりできるようになりました。

その他に中国語の授業も取りました。中国語の授業はレベル別で、留学生だけで構成されていたので、海外の学生と友達になる良い機会でした。

台湾の生活は総じて楽しかったです。人、生活、部活・サークルの要因が大きいと思っています。

台湾の人は日本人よりも外国人に対して親切で思いやりがあると感じました。街で困っていると、言葉の壁に関係なく助けてくれます。また台湾人にどこから来たのかとよく聞かれ、興味を持ってもらえることが嬉しかったです。

生活についても基本的に何でも揃い、治安も良く、住みやすかったです。また台湾をより好きになった要因は食べ物でした。台湾の料理は、調味料、匂い、食材などが独特で私はとてもおいしいと感じたので毎回の食事が楽しみでした。デザートも独特で、特にタピオカミルクティーや

豆花が大好きでした。外食が一般的であるため、ナイトマーケットが発達しており、軽食や飲み物、ゲームなどを楽しむことができます。物価も安めなので、節約生活を送ることができました。

台湾大学では空手道部と言語交換サークルに入っていました。

空手部は台湾の学生との友情を築く非常に貴重な経験でした。最初は言葉の壁や、台湾の空手と日本の空手の微妙な違いに戸惑いましたが、チームメイトのおかげで、何度か大会に参加したり、学外の道場で練習したりすることができました。道場で追加で練習し、かなりハードに空手に打ち込んだと思います。最終的に、全国大会で 3 位に入賞することができました。

言語交換サークルは英語と中国語を話す機会を与えてくれました。毎週の対面交流会の他に、日帰り旅行やバーベキューなどのイベントがあり、これらによって私の語学力が向上したことは明らかです。

大変だったことは言語の壁です。留学前の英語の勉強を疎かにしていたせいですが、初めて台湾を訪れたとき、私は流暢な英会話にはほど遠い状態でした。語彙の少なさ、リスニング能力の低さ、会話経験の少なさに苦労しました。中国語に関しては、ごく初歩的な単語や構文しか使えませんでした。留学後に自身の言語力の弱さを痛感し、家での自主学習やオンライン英会話を始めましたが、もっと早く始めておけばよかったとは思っています。言語は 1、2 か月ですぐに習得できるものではないですが、台湾生活中は話す機会が多かったので日々、昨日の自分より盛況していることを実感できたのは嬉しかったです。言語的に大きな成長を感じたのは半年たったくらいからかと思います。そんな私でも留学生活でたくさんの友達を作り、楽しい経験を積めたので、最初から高い英語力が必ずしも必要とは言いませんが、留学開始時にある程度の言語力があると、友達作りや環境への適応の際に精神的に楽かと思います。

最後に、私にとって台湾での生活は刺激的で、台湾が大好きになりました。また私をグローバル志向にしてくれたことは間違いないです。たくさんの人とかけがえのない繋がりを気づけたことは人生の宝物です。このプログラムを提供していただいた学部には本当に感謝しています。